

日本ユニシス株式会社

2012年3月期第2四半期決算説明会（2011年11月1日開催）

## 主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

**Q：上期は販管費削減が業績改善に貢献したが、下期の販管費が増える予想になっている理由は何か。**

A：上期の販管費は全体で前年同期比 10億円削減されたが、売上、トップラインを増やすというところには重点をおいており営業支援費は増加している。

下期の販管費が増加見通しなのは、上期同様、営業支援費の増加を充分に見込んでいるためである。

**Q：BankVisionの今後の新規獲得の見通し、ポテンシャルについて教えてほしい。**

A：今後3年間で10数行にアプローチし、3割～4割の確率で受注を目指したい。

また10月末に新規1行(北國銀行様)の採用が決まったほか、**現在**、2行で具体的に評価いただきしており、うち1行は今期中の受注につなげたいと考えている。

**Q：2Qの受注が大幅増となったが、下期、および来期に向けて、今の環境をどうみているか教えてほしい。**

A：震災の影響があったものの、必要なIT投資はしっかりしていくという流れは出てきている。

下期も、環境に不透明感は強いものの、グローバルな競争力をつけるためのIT投資は伸びるだろう。今後もそこをしっかりとキャッチアップしていきたい。

**Q：復興事業のクラウド案件についてお聞きしたい。**

A：復興需要については、震災以降、BCP対応からデータセンターに預けたいというニーズは高まっており、これに対応するためにセンター設備も拡張し、実際に受注・内示につながってきている。

足元でも、大型のデータセンター案件が内定したほか、数件の同程度の案件がでてきており、当面はこのビジネスの成長、伸びは続くと見ている。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。